




通宮で 結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

産土



彦島八幡宮社報
第45号



神道と云ふは人々日用の間にあり

宮司 柴田 宜夫

宮司の柴田です。平素は、氏子崇敬者の皆様方には、当八幡宮運営に関します事や、さらには、祭典行事等の齎行につきましまして、格別のご配慮ご理解を賜り、お力添え下さいまして、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。宮司を拜命して、今月で八年を迎えますが、微力ではあります。大過なく、御奉仕できましたのも、偏に、皆様のお支えの賜物です。

年二回発行している社報「産土」、本号で、四十五号を迎えます。第一号を発行したのは、今から十九年前の平成六年のことであつたと記憶しています。また、宮司就任一年目を期して、平成十八年六月から、宮司ニュースとして毎月発行している「宮司プレス」も、八十四号を数え、七年間継続しています。

それは、現在、「デジタルデバイス」、情報格差の時代だといわれていますので、やはり、稽古照今(けいこうしょうこん)、温故知新(おんこちしん)、「古き良き時代の正しい伝統文化を伝えたい」という思いからです。しかも、ただ発信するだけではなく、皆様からのご意見やご要望、時にはお諫め等もですね、しっかりと受け止め、受信して、双方向で健全なる八幡宮の運営に邁進(まいしん)したいと考えています。これからも、変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

伊勢の神宮さんの神職によって唱えられた神道論を「伊勢神道(いせしんどう)」といいます。この伊勢神道は、難しく申し上げると、「唱導(しょうどう)しようどう」神道」とよばれますが、鎌倉末期から室町時代が、「前期伊勢神道」、江戸時代初期から中期にかけてを「後期伊勢神道」と別けられます。

なかでも、「後期伊勢神道」の「度会延佳(わたらい のぶよし)」は、「陽復記(ようふくき)」という著書のなかに、「神道と云(い)ふは人々日用(ひとびとにちよう)の間(あいだ)にあり」と述べていらつしやいます。神事ばかりが、神道ではなく、特殊な道なのでもなく、日常生活全般のなかにあると説いていますね。その日その日が神の心、神の道に叶っているかどうか反省し、一生懸命に努力して生活をする、それが、神道であると説いていらつしやるのですね。それでは、その「神の心」「神の道」とは、いったい何のことでしょうか。「神の心」とは、明き清き誠の心であり、その誠の心を実現するために努力を重ねる、神の心に近づく生活をする、それが「神の道」であります。

われわれの御先祖様は、和を重んじ、家族を大切にし、うそをつかず、卑怯(ひきょう)を恥とし、清潔に規律正しく、つましい暮らしをされてきました。素朴な徳目(とくもく)、日本人らしい立ち振る舞いこそが、神の心、神の道、神道なのではないでしょうか。

最近の脳科学では、ミラニューロンというモノマネ細胞の存在が注目されています。素晴らしい価値や偉人伝(いじんでん)を教えると脳のモノマネ細胞が刺激され、人格形成に有効で徳のある行為へとつながるそうなのです。我々の先人は、多くの困難を克服してこられました。やはり、どんな時にも先程述べた、素朴な徳目を忘れずに日本人らしい立ち振る舞いをされてきたわけで、そのことを思い起こし実践しつつ、次の世代にも伝えていくことが、美しい国のたたずまいを取り戻していく、ひとつのたてになるのではないのでしょうか。

天(あま)つ神のトップに位置する伊勢の大神と国(くに)つ神の代表ともいべき出雲(いずも)の大神の遷宮(せんぐう)が、本年、同じ年に行われます。しかも、東日本大震災を乗り越えてですね。極めて意義深いと思います。

この神宮の式年遷宮と出雲大社の大遷宮の年に、生きながらえ生かされている事に感謝申し上げますながら、「人々日用の間」を大切に健全なる運営に努力申し上げます。皆様方の御自愛を心からお祈り申し上げます。



▼睦月(二月)

社務目誌抄
—平成二十五年一月～六月—

一日 初太鼓

歳旦祭、新年拝賀

三日

元始祭

五日

臨時巫女奉仕終了

八日

海上自衛隊 補給艦「はまな」艦長
以下乗組員正式参拝



十一日

兼務社 六連島八幡宮歳旦祭
並びに島内戸別被い

十三日

どんど焼き



十五日
二十日

成人祭
仁壁神社総代会正式参拝

▼如月(三月)

三日 節分祭
横浜DeNAベイスターズ下関
ファン集いの会日本一必勝祈願祭

九日

紀元祭

建国記念日奉祝式典



十五日

海上自衛隊 敷設艦「むろと」艦長
以下乗組員正式参拝



十七日
二十五日
二十六日

祈年祭
兼務社 六連島八幡宮祈年祭
兼務社 田ノ首八幡宮祈年祭





▼弥生(三月)

- 三日 下関市長選挙立候補者出陣式
- 八日 岡田神社総代会正式参拝



- 十五日 末社 南風泊恵比須神社例祭
- 維蘇志会創立二十周年記念祝賀会
- 春分祭祖霊祭
- 神道会総会

▼卯月(四月)

- 一日 勧学祭並びに新入学奉告祭
- 五日 氏子青年会 維蘇志会総会
- 六日 末社 竹ノ子島金刀比羅宮例祭
- 前夜祭
- 七日 末社 竹ノ子島金刀比羅例祭
- 本殿祭、御神幸祭
- 九日 兼務社 六連島八幡宮荒神祭
- 末社 舟島神社例祭
- 十三日 佐々木小次郎剣客慰霊祭
- (厳流島の決闘より四百年)



- 十四日 敬神婦人会総会

- 十八日 舟島神社例祭奉納グラウンドゴルフ大会
- 山口県神社庁教誨師会正式参拝
- 彦島地区戦没者慰霊祭
- 二十一日 昭和祭
- 二十九日 昭和祭

▼皐月(五月)

- 五日 子供祭
- 末社 塩竈神社例祭
- 衣更
- 十八日 末社 福浦金刀比羅宮例祭宵宮祭
- 十九日 末社 福浦金刀比羅宮例祭本殿祭、御神幸祭



▼水無月(六月)

- 二十日 夏越神輿荷台改修
- 二十六日 第六十二回神宮式年遷宮お白石持ち行事山口県神社庁下関支部奉仕者結団式並びに安全祈願祭
- 二日 早起会総会(於、ホテル西長門リゾート)
- 五日 山口県神職大会(於、山口県神社庁)
- 十日 末社 海士郷恵比須神社例祭御座船選出神占神事
- 十三日 末社 貴布禰神社境内稲荷社例祭
- 十五日 氏子総代 奉賛会理事総会
- 三十日 大祓式



彦島八幡宮社報「産土」に寄せて



下関市長 中尾 友昭

まずは、この度、彦島八幡宮社報「産土」に寄稿の栄を賜りましたことに、心より御礼申し上げます。また、彦島地区の皆様方には、平素より市政各般にわたりご理解ご協力賜り、深く感謝申し上げます。

さて、私は、このたび、二期目の市政の舵取りを担わせていただくこととなりました。皆様から寄せられました信頼と期待に応え、「日本一元気なまち、日本一暮らしやすいまち・下関」を目指し、これからの四年間も市政運営に全身全霊を傾けてまいります。

これまで「市民起点」と「地域内分権」を基本に、様々な取組を行ってきましたが、これからの五年、十年先を見据えたとき、「少子・高齢化への対応」、「市民の安全・安心の確保」、「下関の雇用・産業力の拡大」、「行財政改革の推進」などの課題に、今後さらに集中的、重点的に取り組まなければならないと考えております。

そこで、これら課題の解決に向けて、「産業・経済力の元気アップ」や「子ども・子育て元気アップ」など、下関の元気アップを目指した六つの元気アップ・プログラムを掲げ、取組の強化を図ってまいります。

具体的な例として、中心市街地の活性化による活力のあるまちづくりに関しましては、まず、あるかぼーと地区において、今年四月に芝生エリアが誕生したほか、七月には世界有数のコーヒーチェーン店がオープンするとともに、十月には直径六十メートルの大観覧車をはじめとしたアミューズメントパークが新たにオープンする予定となっております。海峡のぎわいをさらに加速させてまいります。

また、下関駅前地区には、にぎわい創出のための核施設であり、市が「次世代育成支援拠点施設」を整備する（仮称「JR下関駅ビル」）が開業する予定です。下関商業開発株式会社による整備が予定されており、シネマコンプレックス・立体駐車場と併せて、本市の今後の発展のための大きな一歩となるものと期待しております。

以上、二期目の市政運営の一端について述べさせていただきましたが、これからも、市民の皆様が元気で将来に希望の持てるまちづくりを進めてまいりますので、彦島地区の皆様におかれましては、地域社会の発展のためにご尽力賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、彦島八幡宮、並びに彦島地区の今後益々のご発展と、彦島地区の皆様方のご健勝ご多幸を心からお祈り申し上げます。ご投稿の結びとさせていただきます。

新年御供米料奉献会社御芳名

【*順不同、敬称略】

- タナカ機工(有)
- (株)中冷
- (有)西和建工(株)
- (有)マルゲン包材
- (株)がんにゅう
- 警戒船用組合
- 下関唐戸魚市場(株)
- (株)農水フーズ
- キヤボットジャパン(株)
- (株)副田工務所
- ジャパンマリン(株)
- 下関農業協同組合彦島支所
- 松田内科クリニックス
- 三菱重工業(株)下関造船所
- 香洋工業(株)
- (株)サントー
- (株)美栄水産
- 関門三協工業(株)
- 日新リフラテック(株)
- 山口県漁業協同組合
- 池田興業(株)下関支店
- 古賀産業(株)
- (有)大神商店
- (有)南国シティータクシー
- (有)ライフクリーニング
- 植田木材(株)
- (株)山口銀行彦島支店
- (有)丸山商事
- みなと不動産
- 三宅商店
- 和田電機(株)
- 大日商事(株)
- (株)室田組
- (株)下関ユアサ建材
- (有)マルイチ彦島醸造工場
- (株)原工務店
- シヤテイサラダ館彦島店
- テーラーしばた
- 西中国信用金庫西山支店
- 青木鉄工(株)
- (株)田原工務店
- (有)上釜電機商会
- 大田造船(株)
- (株)大庭工務店
- (有)岩原クリーニング
- (有)ライス&ミルク上村
- (株)ユキテクノ
- (有)平田工業所
- (有)エポック
- 合資会社三池屋
- 大久保本店
- (株)ナカハラプリンテックス

*御献納賜りまして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。更なる弥栄とご隆盛をご祈念申し上げます。

平成二十五年 節分祭御協賛御芳名

平成二十五年節分祭斎行にあたりまして左記の通り多大な御協賛を賜りました。

【*順不同、敬称略】

【設営協賛の部】

▼舞台花道設営

(株)新原工業

▼照明設備

(有)タツミ電工

【協賛金の部】

下関三井化学(株)

彦島製錬(株)

キヤボットジャパン(株)下関工場

三菱重工業(株)下関造船所

サンセイ(株)下関工場

日新リフラテック(株)

下関唐戸魚市場(株)

協立運輸商事(株)

池田興業(株)下関支店

下関菱重興産(株)

西和建工(株)

(株)岡本鉄工

ジャパンマリン(株)

青木鉄工(株)

(株)田原工務店

西中国信用金庫西山支店

(株)山口銀行彦島支店

(株)ナカハラプリンテックス

格別なるご芳心衷心より御礼申し上げます。



維蘇志会創立二十周年を迎えて



維蘇志会会長

石崎 幸亮

維蘇志会が出来て二十年！もうそんな
 にと思っくらいあつという間でした。
 先代の宮司さんから新しい若い宮司さんの
 為に、何か集まりを作つてほしいと言われ、
 皆で相談した結果今の維蘇志会が設立さ
 れました。会の名前は、今の宮司さんが名
 付け親です。

若い人達が中心の会だから型にあまり
 とらわれず、お宮を中心に活動して行きお
 金をかけず、体で奉仕を行う事、常に崇敬
 の念は忘れない事など、どちらかと言えは
 簡単な規約で発足しました。

最初は、春夏秋冬のお宮の行事のお手伝
 いをと始まった会でしたが、今では維蘇志会
 が主催の行事も幾つか有り、年間を通じて
 いつもお宮が活動の中心となりつつ有ります。
 ただ、会員の平均年齢も二十年の月
 日が経ったわけですから良い齢になりました。
 若い会員の入会を期待します。

市内其々のお宮にも若い人中心の会が有
 ります。亀山八幡宮の亀笑会はその中でも
 古く維蘇志会の大先輩です。今は、市内の
 氏子青年会の会合や、中国地区大会、全国
 大会等々行われていて我々も参加します。
 全国の色んな人達と交流できて大変有意
 義です。特に、今年は式年遷宮の年に当り、
 過日六月には松江市で中国大会が行われ

たばかりで、八月には伊勢神宮の御膝元で
 全国大会が挙行されます。
 何もかもが二十年というサイクルで動く
 年に、我が維蘇志会もその中の一員であるとい
 う思いと誇りを持ちながら、つきなみです
 が次なる二十年を目指します。



維蘇志会 創立十五周年から二十周年の歩み

平成十五年四月〜平成二十五年三月

- 平成十五年 四月
 - ◆早水榮一 郎氏第五代会長就任
 - ◆創立十周年記念植樹式 歴々奉納
 - ◆家族例会
 - ◆関門海峡花火大会海峽クルージングにて開催 (平成十八年まで)
- 十六年 三月
 - ◆早水榮一 郎氏第六代会長就任
 - ◆早水榮一 郎氏第六代会長再任(二期)
 - ◆柴田宜夫氏彦島八幡宮第二十代宮司就任
 - ◆奉告並びに祝賀会
 - ◆第三回まほろば学級開校(有志助勢)
 - ◆以来毎年八月第二日曜日継続
 - ◆第六十二回伊勢神宮式年遷宮奉賛会
 - ◆下関支部結成大会
- 十七年 四月
 - ◆彦島八幡宮御創祀八百五十年式年大祭実行委員会結成大会
 - ◆島芳治氏第六代会長就任
 - ◆第四十回中国地区氏子青年・神道青年合同研修会 (於、亀山八幡宮)
 - ◆新年事業再開
 - ◆甘酒販売
 - ◆下関市建国記念の日奉祝式典にて島会長が 彦原神宮通拝詞を奏上
- 十八年 八月
 - ◆第四十二回中国地区氏子青年・神道青年合同研修会 (於、出雲大社)
 - ◆全国氏子青年協議会創立四十五周年記念東京大会
 - ◆山口県氏子青年・神道青年合同研修会並びに 球技大会開催
 - ◆研修担当 亀山八幡宮
 - ◆球技担当 彦島八幡宮
 - ◆創立十五周年記念「マント三張」奉納
 - ◆彦島八幡宮御創祀八百五十年式年大祭記念並びに 山口県青年神職会創立六十周年記念語り 舞台「神話への誘い」
 - ◆出演 浅野温子他、彦島八幡宮
 - ◆天皇陛下御在位二十年下関奉祝行事
 - ◆島芳治氏会長再任(二期)
- 十九年 一月
 - ◆御創祀八百五十年式年大祭 祝賀記録
 - ◆下関市内、北九州市内神社初詣の社頭 祝賀記録
 - ◆月第一日曜日に新年例会開催並びにどんど焼き 執行へ移行
 - ◆第四十三回中国地区氏子青年・神道青年合同研修会 (於、吉備津神社)
 - ◆下関市建国記念の日奉祝式典にて島会長が決議文を奉読
 - ◆石崎幸亮氏第七代会長就任
 - ◆初め、会長代行職を託す田原照男氏が就任
 - ◆全国氏子青年協議会第四十九回京都大会
 - ◆新年事業として甘酒販売に加え、開運福引大会を 開催(元旦限定)
 - ◆建国を祝う青年の集い
 - ◆柴田宜夫「建国の日を思ふ」と題して講演 (於、亀山八幡宮)
 - ◆山口県氏子青年・神道青年合同役員会(於、春日神社)
 - ◆東日本大震災復興祈願祭
 - ◆天皇陛下皇后陛下下関市行幸啓奉迎行事
 - ◆第四十五回中国地区氏子青年・神道青年合同研修会 (於、白山北)
- 二十五年 三月
 - ◆創立二十周年記念例会
 - ◆記念植樹式「オガタマ」奉納
 - ◆赤間神宮青田圃宜による記念講演

正月臨時巫女神務助勤を 体験してみませんか？

当宮では、例年正月の繁忙期に臨時雇用として、氏子の高校生、大学生、専門学校生の方々を中心に巫女として「助勤」「助務」と呼ばれる御神勤を、奉仕戴いております。単にアルバイトという位置づけではなく、作法、所作、応接等々を学ぶ傍ら、社会人へと続く過程において、鎮守の杜で真々直々な気持ちで養っていただき、心を正しい場所へと導き還して行く機会でもあります。

白い小袖(白衣)に朱色の袴という装束を着て、引き締め、神様の御傍でお仕えするという貴重な体験をしてみませんか？鎮守の杜のまほろばにおいて、尊い大神様の存在に少しでも近づく境地を体験していただければ幸いです。



シリーズ 伊勢の神宮式年遷宮について

日本人の心のふるさと、我國の総氏神様である伊勢の神宮(三重県伊勢市)では本年、第六十二回式年遷宮が斎行されます。二十一年に一度斎行されます我国における最重要の行事であり、社殿をはじめ装束・神宝等七(四種)、五七六点を新しくする祭祀行事をシリーズで紹介しております。平成十六年四月、天皇陛下の御聴許(お聞き届けいただくこと)をいただいて以降、着々と準備が進められ、本年二月二十五日には遷宮の中核をなす最重要の祭儀「遷御の儀」斎行の日時を内宮十月二日、下宮十月五日に御治定(お定めになられること)賜りました。

今回は「杵築祭」に次ぐ祭儀「後鎮祭」、「御装束神宝読合」、「川原大祓」、「御飾」、「遷御」、「大神饌」、「奉幣」、「古物渡」、「御神樂神饌」、「御神樂」です。



御鎮祭

新殿の竣功に際し、大宮地の平安を祈る祭儀です。



御装束神宝読合

新調された御装束神宝の式目を新宮の四文殿において読み合わせる祭儀です。



川原大祓

神宮祭主以下の奉仕員をはじめ、仮御櫃代・仮御船代・御装束神宝を川原祓所で祓い清める祭儀です。



御飾

遷御当日、殿内を装飾して遷御の準備をします。



遷御

大御神が本殿(古殿)から新殿へとお遷りになる式年遷宮の中核をなす祭儀です。ただし、日中ではなく午後八時より開式され、夜間暗闇のなか厳肅な内に執行されます。





神宮参拝のご案内

～日本人の心のふるさと伊勢の国へ
参詣してみませんか?～

▼外宮(豊受大神宮)

御祭神：豊受大御神

御神徳：「受＝うけ」とは食物のことで、**食物・穀物を司り**衣食住をはじめすべての産業の守り神様として崇められています。



せんくう館

▼内宮(皇大神宮)

御祭神：天照大御神

御神徳：皇室の御祖先の神様で、我が国で最も貴く、国家の最高神とされ**日本人の総氏神様**として崇められています。



五十鈴川

▼公共交通機関(アクセス)

日本各地から伊勢の神宮へのアクセスを考えた場合、名古屋もしくは大阪を目指し、そこからJRまたは近鉄線を利用する経路が便利です。伊勢市内へ到着後の交通手段はタクシー・路線バス・レンタカー・徒歩と様々ですので、滞在時間を考慮しながら移動される事をおすすめ致します。

■電車利用の場合

- 近鉄特急 京都駅
----->宇治山田駅 2時間10分
- 近鉄特急 大阪・上本町駅
----->宇治山田駅 1時間50分
- 近鉄特急 名古屋駅
----->宇治山田駅 1時間30分
- JR快速 名古屋駅
----->伊勢市駅 1時間37分

■駅からの移動

- 内宮 <近鉄>宇治山田駅からバス15分
- 外宮 <JR・近鉄>伊勢市駅から徒歩5分(600m)

■お車利用の場合

- 内宮 <伊勢自動車道>伊勢インターまたは伊勢西インターより5分
- 外宮 <伊勢自動車道>伊勢西インターより5分



[写真提供:神宮司廳]

大神饗

遷御翌日の早朝、新殿において初めて大御神に大神饗といわれる神饗を奉る祭儀です。

奉幣

天皇陛下から奉られるい幣帛(神様への奉献物)を奉納する祭儀です。

古物渡

古殿内の御神宝類を新殿の西宝殿に移す祭儀です。

御神楽神饗

御神楽を行うに先立ち大神饗といわれる神饗を奉る祭儀です。

御神楽

天皇陛下より遷御の後、神宮に宮中(宮内庁式部職)の楽師が差し遣わされ御神楽及び秘曲を奉納する祭儀です。

三十一日 海士郷恵比須神社夏越祭

三十日 夏越祭本殿祭・御神幸祭
*西日本最大規模の海上渡御

二十九日 夏越大祓式・菅拔神事

二十五日 六連島八幡宮夏越祭・戸別祓

二十四日 田ノ首八幡宮夏越祭



文月（七月）

九日 六連島八幡宮七社祭

七つの祠（全て石造りのちいさな社）の世話人がお供え物と注連縄を持参し、順次祭典を執行。終了した者から自分のおもりする社に参拝し、注連縄と御神体の衣を替えます。これを「オキヌ替え」と称します。お供え物は、祭典前日、井戸を替その若水にて炊いた麦の団子と麦の粉をその若水でねった物を楯の葉にのせ、青竹の箆をそえた十二膳という特殊神饌です。

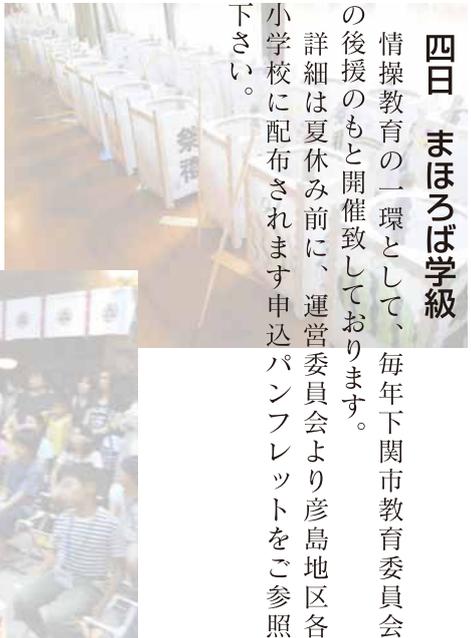
十五日 竹ノ子島天満宮例祭

彦島唯一の天神様です

中旬 神道家中元祭

四日 まほろば学級

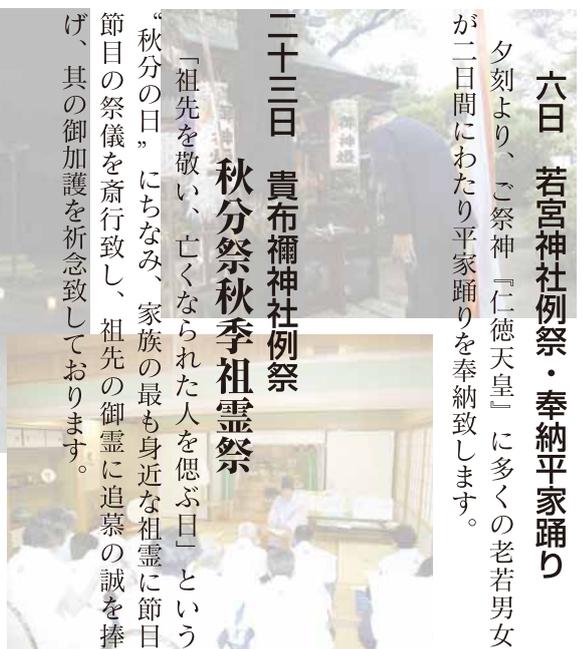
情操教育の一環として、毎年下関市教育委員会の後援のもと開催致しております。詳細は夏休み前に、運営委員会より彦島地区各小学校に配布されます申込パンフレットをご参照下さい。



下旬 観月祭

二十三日 貴布禰神社例祭 秋分祭秋季祖霊祭

「祖先を敬い、亡くなられた人を偲ぶ日」という「秋分の日」にちなみ、家族の最も身近な祖霊に節目の祭儀を斎行致し、祖先の御霊に追慕の誠を捧げ、其の御加護を祈念致しております。



長月（九月）

六日 若宮神社例祭・奉納平家踊り

夕刻より、ご祭神「仁徳天皇」に多くの老若男女が二日間にあたり平家踊りを奉納致します。

祭事暦

（平成二十五年下半年期）

月次祭

毎月1日・15日

※本殿前にて皆様方に終日「御神供米」をおわかち致しております。

宮司講話会

毎月1日

※神社神道をはじめ時局問題、日本の伝統文化等々おりました話を宮司自ら講話致します。どなた様でもお気軽にご参加いただけます。

朝粥会

毎月21日 午前6時30分

※誕生月の方全員に玉串拝礼をしていただきます。四季折々のお粥をご賞味下さい。

皆様お誘いあわせの上、お気軽にご参拝下さい。

神無月 (十月)

四日 六連島八幡宮例祭前夜祭・湯立神事

本殿裏にて忌火で沸かした湯に藁(わら)の輪飾に青竹に挟んだ人形(ひとかた)を四体立て、御幣で掻き混ぜた後、柄杓にて一杯すくい神前に献湯する特殊神事です。神事終了後この神湯を戴き、無病息災を祈ります。

五日 六連島八幡宮例祭本殿祭・御神幸祭

十二日 田ノ首八幡宮例祭前夜祭

十三日 田ノ首八幡宮例祭本殿祭・御神幸祭

敬神婦人会境内清掃活動

神嘗奉祝祭

十九日 秋季例大祭・前夜祭

二十日 秋季例大祭・本殿祭・御神幸祭

無形民俗文化財『サイ上がり神事』

午後三時

彦島歴史ウォーク

霜月 (十一月)

上旬 懸崖・菊花展

三日 明治祭

明治天皇さまのご生誕とご聖業を讃えるところに、ご皇室の更なるご繁栄を祈願する祭事です。

十五日 七五三祭

二十三日 新嘗祭

新穀を御神前へお供え致し、本年の収穫を天神地祇(八百万の神々)に感謝申し上げます。

二十五日 六連島八幡宮新嘗祭

師走 (十二月)

一日 大注連縄奉製・煤払式

本年刈り取って干した稲藁を使用し、青々しい立派な大注連縄を総代関係者にて奉製致します

三日 祈漁祭

通称「ボラ祭り」とも言い、ボラ漁解禁の日に因み、大漁祈願と海上安全祈願を齎行致します。

二十三日 天長祭

今上陛下の御誕辰を言祝ぎ更なる皇室の弥栄をお祈りする祭典です。

天長祭とは、古来、唐の玄宗皇帝の誕生日を天長節と祝った事に由来します。天長とは老子の「天長地久」という言葉に由来し「天にとこしえなる事」の意を含んでいます。

正月臨時巫女奉仕者説明会

三十二日 守札授与品清祓式

大祓式

除夜祭

神前結婚式のご案内

鎮守の杜で

美しく雅やかな結婚式を…

神前にて共に生きることを誓う、人生における最も重要な儀礼を、神聖な社殿で執行してみませんか。神道における最上の「産霊(むすひ)行(な)を實踐し、日本の伝統『和の心』を継承致しましょう。

100名様対応の披露宴会場もあり、隣接の神社会館『瑞鳳殿』にて挙行できます。



※詳細は社務所までお問い合わせ下さい。

お食事・仕出し(御弁当)はお任せ下さい

彦島八幡宮会館 瑞鳳殿の御案内

お友達やご家族との会食、披露宴、新年会、忘年会、歓送迎会、各種懇親会、年祭、法要等全てに対応しております。仕出し等の各種弁当もご用意できます。
*予算献立等詳細はご連絡下さい。完全予約制です。予めご了承下さい。
(予約センター連絡先) TEL 083-1233-4107 (三三三) (午前10時30分〜)
※社務所にてお受け付けておりますのでお気軽にご相談下さい。

*洋ホール2〜100名様まで対応

*和室十二畳(※六畳二部屋)

*和室十畳(※十畳二部屋)

【和室会席の場合11定員三十五名】



恒例祭典のご案内

夏越祭

七月二十九日(月)前夜祭

午後五時より前夜祭(天祓式並びに菅拔神事) 齋行人形(※左図)に氏名・年齢・年齢・男女の別を記入...



七月三十日(火)御神幸祭 海上渡御

午前七時より本殿祭・発願祭・齋行 午後八時より本殿祭・齋行 午後八時御神幸祭 齋行

秋季例大祭

十月十九日(土)前夜祭

午後五時より前夜祭神事齋行 彦島ふく鍋 福引大会(空クジなし)豪華景品多数!

十月二十日(日)御神幸祭

本殿祭(午前十時三十分)初興祭(午後一時) 無形民俗文化財「サイ上り神事」(午後二時)齋行



祈願祭のご案内

安産祈願祭・ 腹帯清祓のご案内

彦島八幡宮は別名「子安八幡」とも称され、安産の神様としても崇められております。

Table with 3 columns: Date, Day, and Status (e.g., 先負, 大安, 赤口).

編集後記

お蔭様をもちまして社報「産土」第四十五号の発行の運びと相成りましたこと茲にご報告申し上げます。

夏越祭 御神幸順路と予定時刻 [7/30日(火)] 本宮御発興 → 正面鳥居左折 → 下関三井化学内 → 三井化学前信号を直進 → 十二苗相墳墓 → 卯月峠経由...

彦島八幡宮社務所 発行所 彦島八幡宮社務所 彦島市彦島町五丁目十二番九号 TEL 083-216-0170...

七五三参拝の御案内 左記の通り、今年七五三をお迎えになるお子様を御家族の方共々にお祝い申し上げます。

数え年表記です 三歳 平成二十三年生まれの男子・女子 ※古くは髪置と言ひ、頭髪を伸ばし始める歳です。